

珍しい交響曲 ロシア(ソ連) Minor Symphopnies Russia

作曲者		生没年	交響曲の数	曲名	評価 ★★★★★:ぜひ聞いて欲しい ☆☆☆☆:聞く価値はある ※※:どちらとも言えない ×:聞く価値なし	コメント	○の曲のスコアは保有しています。	CD番号	レーベル
Anton Rubinstein	ルビンシテイン	1829-1894	6	交響曲第2番 大洋 (1851-1881)	×	1851年に完成後、改訂を繰り返し、1881年の最終稿では7楽章となりました。LPでは1, 3, 4, 6, 7の5つの楽章が演奏されていますが、退屈です。		LPです。H5051V	Philips
				交響曲第6番(1886)	☆☆☆☆	4楽章で43分。第1楽章は大変聞きごたえがあります。			NAXOS
Alexander Borodin	ボロディン	1833-1887	3	交響曲第1番(1867)	×	4楽章で34分。魅力的ではない。		8.550238	NAXOS
				交響曲第2番(1876)	☆☆☆☆	4楽章で24分。第1、2楽章は聞き応えがあります。	○		
				交響曲第3番(1882)	×	2つの楽章のみの断片。17分。			
Nikolay Rimsky-Korsakov	リムスキー=コルサコフ	1844-1908	3	交響曲第1番(1865)	×	4楽章で27分。第1楽章はロシアっぽい感じがしますが、あとは何と言うことのない音楽です。		8.550811	NAXOS
				交響曲第2番(1868)	×	4楽章で24分。1度聴けば充分です。			
Sergey Ivanovich Taneuev	タネーエフ	1856-1915	4	交響曲第1番(1874)	×	4楽章で34分。単純すぎます		8.570336	NAXOS
				交響曲第2番 (1887-1977)	※※	3楽章で37分。1877年に第1楽章のみ完成。第2, 3楽章はスケッチのみ。1977年にロシアの作曲家Vladimir Blokが補筆して完成。第1, 2楽章は習作の雰囲気。第3楽章はロシア風です。		8.572067	NAXOS
				交響曲第3番(1884)	×	4楽章で42分。第4楽章が多少ロシアっぽいですが、薄味です。		8.570336	NAXOS
				交響曲第4番(1898)	☆☆☆☆	4楽章で41分。特に第1, 4楽章は聞きごたえがあります。	○	8.572067	NAXOS
Sergei Mikhailovich Lyapunov	リャプーノフ	1859-1924	2	交響曲第1番(1887)	☆☆☆☆	4楽章で41分1, 4楽章ではロシアっぽさも十分味わえます。	○	8.570462	NAXOS
				交響曲第2番(1917)	※※	4楽章で62分の大曲。冒頭の音型が全楽章に共通するモチーフとして使われますが、成功していません。散漫な印象です。		ライブ録音	Radio France

Mikhail Ippolitov-Ivanov	イッポリート・イワノフ	1859-1935	1	交響曲第1番(1908)	※※	4楽章で36分。第4楽章は聞けます。		8.573508	Naxos
Aleksandr Grechaninov	グレチャニノフ	1864-1956	5	交響曲第1番((1894)	☆☆☆☆	4楽章で34分。ロシアの交響曲の感じを十分に味わうことができます。特に第1楽章はロシアそのものです。		8.55541	NAXOS
				交響曲第2番((1909) 副題: 田園	※※	4楽章で35分。第1楽章は田園っぽいですが、以降は聞き映えがしません。		8.55541	NAXOS
Vasily Sergeyevich Kalinnikov	カリニコフ	1866-1901	2	交響曲第1番(1895)	★★★★★	4楽章で39分。一時、かなりはやりました。第1楽章の第2主題がなんといっても魅力的です。	○	8.553417	NAXOS
				交響曲第2番(1897)	☆☆☆☆	4楽章で40分。第1番よりは魅力に欠けます。		8.553417	NAXOS
Alexander Scriabin	スクリャービン	1872-1915	5	交響曲第1番(1900)	※※	6楽章で48分。第6楽章にはメゾソプラノ、テナー、合唱を含む。ロシア風味は少ないです。第6楽章の最後は古典的な盛り上がりを見せます。		UCCD-2271	DACCA
				交響曲第5番(1910) プロメテウス 火の詩	※※	単一楽章で22分。編成には色光ピアノを含む。CDでは普通のピアノが協奏曲なみに活躍します。最後は大変盛り上がります。			
Gliere Reinhold Moritsevich	グリエール	1875-1956	3	交響曲第3番(1911) イリヤー・ムーロメツ	☆☆☆☆	4つの楽章で75分の大曲。1, 2楽章はスクリャービン風の神秘的な感じ。3, 4楽章はロシア風味が濃くなります。		8.573161	NAXOS
				交響曲第1番(1908))	※※	3楽章で41分。ロシアっぽくは無い。退屈せずには聞けます。第3楽章はフーガ。			
				交響曲第2番(1911)	※※	2つの楽章で45分。第1楽章には聞きごたえのある部分があります。			
				交響曲第3番(1914)	※※	2つの楽章で45分。ところどころは聞けます。			
				交響曲第4番(1918)	×	3楽章で40分。特に聞く部分無し。			
				交響曲第5番(1918)	※※	4楽章で43分。はじめての長調作品。第1楽章の主題はロシア風。第3、4楽章は珍しく単純でわかりやすい音楽。			
				交響曲第6番(1923)	※※	4楽章で63分。最長の作品。第1楽章にはだいぶ勇ましい部分があります。第4楽章には任意の合唱つき。(このCDでは無し)第4楽章の途中では単純なわかりやすい旋律が聞けます。グレゴリア聖歌の“怒りの日”の旋律も登場します。			

Nikolai Myaskovsky	ミヤスコフスキー	1881-1950	27	交響曲第7番(1922)	☆☆☆☆	2つの楽章で24分。かなり聞きやすくなっています。	2564696898 交響曲全集	Warner Classics
				交響曲第8番(1925)	☆☆☆☆	4楽章で51分。大変わかりやすくなっています。第2、4楽章の主題はロシア風。第3楽章には日本民謡風な旋律が登場します。		
				交響曲第9番(1927)	※※	4楽章で41分。前年にはショスタコービッチの交響曲第1番が初演されていますが、特にその影響は無さそう。速い第2、4楽章には単純な旋律が多発。		
				交響曲第10番(1927)	☆☆☆☆	単一楽章で17分。聞き映えのする旋律が登場します。単一楽章で終わってしまうのが残念。		
				交響曲第11番(1932)	×	3楽章で35分。特に聞く部分無し。		
				交響曲第12番(1932) 副題: 10月	※※	3楽章で32分。第1、3楽章には分かりやすい旋律があります。		
				交響曲第13番(1933)	※※	単一楽章20分。速い部分は聞きやすい。		
				交響曲第14番(1933)	☆☆☆☆	5楽章で36分。単純な旋律が多数登場。”晴-れたみ空に・・”に近い節回しが何回も登場。第5楽章は特に楽しく聞けます。		
				交響曲第15番(1935)	☆☆☆☆	4楽章で36分。どの楽章も親しみやすいです。第4楽章などは西欧の作品と言っても通りそうです。		
				交響曲第16番(1936)	☆☆☆☆	4楽章で45分。第2楽章の弦楽器の響きは現代のポップス曲にも通じるものです。第3楽章はとても劇的。		
				交響曲第17番(1937)	※※	4楽章で47分。第3楽章には分かりやすい旋律があり、第4楽章ははでです。		
				交響曲第18番(1937)	※※	3楽章で24分。ロシア風で分かりやすく単純すぎる旋律が多数登場します。		
				交響曲第19番(1939)	※※	吹奏楽のための作品。4楽章で24分。ロシア風の主題の第1楽章は楽しめますが、第2楽章以降は魅力に乏しいです。ロシアの吹奏楽のための交響曲としてはコジェヴニコフの第3番(1950)という大変楽しい作品があります。		
				交響曲第20番(1940)	※※	3楽章で27分。第1楽章ははでな作り。第3楽章の主題はロシア風。		
				交響曲第21番(1940) 副題: 交響幻想曲	※※	単一楽章で18分。ゆっくりな部分には聴ける箇所があります。はでな部分もあります。		

				交響曲第22番(1941) 副題:大祖国戦争についての交響バラード	※※	単一楽章で36分。タイトル通りの内容。 交響曲ではなく交響詩と言えます。			
				交響曲第23番(1940) 副題:北コーカサスの歌と踊りの主題による交響組曲	※※	3楽章で33分。単純すぎます。			
				交響曲第24番(1943)	☆☆☆☆	3楽章で38分。各楽章とも聞き映えがします。		8.55376 及び 2564696898 交響曲全集	NAXOS 及び Warner Classics
				交響曲第25番(1946)	☆☆☆☆	3楽章で40分。第1, 3楽章は聞き映えがします。			
				交響曲第26番(1948) 副題:ロシアの主題による	※※	3楽章で42分。副題通りの大げさな曲です。		2564696898 交響曲全集	Warner Classics
				交響曲第27番(1949)	★★★★★	3楽章で35分。各楽章とも聞きごたえがあります。ミャスコフスキーの聞きはじめとしてはこの曲が良いと思います。			
Igor Stravinsky	ストラヴィンスキー	1882-1971	4	交響曲ハ長調(1940)	☆☆☆☆	面白く聴けます。		LPです。 GT9243	LONDON
				3楽章の交響曲(1945)	★★★★★	大変、変わった音色が聞けます。			
Scherbachov V.V.	シェルバチョフ	1889-1952	5	交響曲第5番(1950)	☆☆☆☆	4楽章で42分。第2楽章の旋律はロシア風ですが、響きはアメリカの交響曲に似ています。第4楽章で突然浮かれた軽い音楽になりますが、最後は堂々としています。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA9970	Northern Flowers
Leonid Alexandrovich Polovinkin	ポロビンキン	1894-1949	9	交響曲第7番(1942)	×	4楽章で32分。特に聴く箇所無し。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA 9998	Northern Flowers
				交響曲第9番(1944)	※※	4楽章で50分。第1楽章は軽い感じで始まります。第4楽章は大変盛り上がります。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA9994	Northern Flowers
Lev Knipper	クニツペル	1898-1974	21	交響曲第8番(1942)	※※	3楽章で27分。交響曲第4番の旋律がポーリュシカポーレになっていることが有名な作曲家。聴き映えのする部分もあります。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA 9975	Northern Flowers

Alexander Tcerepnin	チェレプニン	1899-1977	4	交響曲第1番(1927)	※※	4楽章で25分。ロシア生まれですが、世界中を移動。1934-1937には日本で伊福部昭などに影響を与えた作曲家。第1番はパリにいた時の作品。ロシア風味はまったくなく、当時のパリの近代音楽そのものです。第2楽章は打楽器のみ。第4楽章は聞きごたえがあります。		BIS1717 交響曲・ピアノ協奏曲全集	BIS
				交響曲第2番(1951)	☆☆☆☆	4楽章で26分。仕上げた時はアメリカ在住。第1番よりは聞きやすくなっています。アメリカの聴衆に合わせたのでしょうか。			
				交響曲第3番(1952)	☆☆☆☆	4楽章で27分。第2楽章はストラビンスキー風、第3楽章は東洋風です。			
				交響曲第4番(1957)	×	3楽章で27分。特に聞く部分無し。			
Alexander Mossolov	モソローフ	1900-1973	5	交響曲ホ短調(1944)	×	4楽章で52分。特に感銘を受ける部分無し。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA9978	Northern Flowers
				交響曲第5番(1965)	※※	3楽章で32分。最後は盛り上がった部分が長く続きますが、そこまでは感銘を受ける部分無し。		8.574102	Naxos
Aram Khachaturian	ハチャトリアン	1903-1978	3	交響曲第1番(1934)	☆☆☆☆	3楽章で45分。ハチャトリアンという名前から想像される強い民俗性は感じられませんが、聞きごたえはあります。第2楽章の中間部はガイナー組曲が始まったのかと思うような舞曲です。第3楽章はスケルツォ風で散漫。		777919	cpo
				交響曲第2番 鐘(1943)	☆☆☆☆	かなり民俗的な味わいです。		LPです。 K15C-9014	LONDON
				交響曲第3番「交響詩曲」 (1947)	※※	3つの部分から成る単一楽章で25分。トランペット15本、オルガンを伴う。交響曲というよりは原題の「交響詩曲」の方がふさわしい。		777973	cpo
Gavriil Popov	ポポフ	1904-1972	6	交響曲第1番(1935)	※※	3楽章で45分。ポポフはショスタコービッチ(1906-1975)と同世代で友人、同じように将来を嘱望されていました。いろいろな場面が登場しますが、散漫です。3つの楽章で45分。		OVCL00626 2016年東京交響楽団による日本初演のライブ録音	Octavia Extón
				交響曲第2番(1943)	※※	4楽章で35分。第1楽章の弦楽器が重く重なっていく様子はグレッキの交響曲第3番とそっくりです。もちろん、こちらの方が先。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA 9977	Northern Flowers

				交響曲第3番(1946)	☆☆☆☆	5楽章で54分。大編成の弦楽合奏のための交響曲。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA 9972	Northern Flowers
Dmitry Kabalevsky	カバレフスキー	1904-1987	4	交響曲第1番(1932)	※※	2楽章で18分。聞きやすいです。		8.573859	Naxos
				交響曲第2番(1934)	☆☆☆☆	3楽章で24分。第3楽章には分かりやすい旋律が登場します。作者は下記の曲を交響曲と呼ばなかったので、作曲年と番号がずれています。		8.573859	Naxos
				交響曲第3番(1933) レーニンのための レクイエム	※※	2楽章で19分。レーニン没後10年を記念する式典のための曲。第1楽章は式典にふさわしいはなやかなムード。第2楽章には混声合唱が登場。よくある響きが連続します。		999833 交響曲全集1〜4番	cpo
				交響曲第4番(1956)	×	4楽章で41分。ありふれた響きしかない。			
Yuri Vladimirovich Kochurov	コチューロフ	1907-1951		マクベス交響曲(1948)	※※	単一楽章で28分。交響詩のようなスタイル。聴き映えのする部分もあります。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA9981	Northern Flowers
Yevgeny Golubev	ゴルベフ	1910-1988	7	交響曲第5番(1960)	※※	優れた部分もあります。ショスタコービッチに似た部分もあります。		LPです。 C10-12509-10	Melodiya
Orest Yuvlakhov	イエヴラホフ	1912-1973	3	交響曲第1番(1946)	※※	4楽章で37分。聞き映えのする部分もあります。		戦時の音楽シリーズ NF/PMA 9988	Northern Flowers
Tikhon Khrennikov	フレンニコフ	1913-2007	3	交響曲第1番(1935)	×	3楽章で22分。長らくソビエト作曲家同盟の書記長を務めた人物。CDの表面はLPレコードを模したデザイン。レコードの溝まで彫り込んであります。特に聴く箇所無し。		MEL CD 10 02086 フレンニコフ全集	Melodiya
				交響曲第2番(1942)	×	4楽章で35分。ロシアのトランペット奏者は相当タフで無いと務まらないようです。吹く量の多さと音の高さに驚きます。長い分つまりません。短い第3番の方がましです。			Melodiya
				交響曲第3番(1973)	☆☆☆☆	3楽章で17分。第1楽章では金管を含む全楽器が急速に動き回ります。吹奏楽曲以上で壮快です。各所でショスタコービッチ風な響きが表れます。			Melodiya
Andrei Eshpai	エシュパイ	1925-2015	9	交響曲第1番(1959)	※※	ロシア連邦の中のマリ・エル共和国の作曲家。特に聞く箇所がありません。		LPです。 C 10 05401 02	Melodiya
				交響曲第3番(1965)	※※	聞きやすい部分もあります。		LPです。 C 10 05401 02	Melodiya

Edison Denisov	デニソフ	1929-1996	2	交響曲((1987)	×	3楽章で50分。当時の前衛曲。何をしているのかわかりません。		2292-45600-2	ERATO
Rodion Shchedorin	シCHEDリン	1932-	3	交響曲第1番(1958)	★★★★★	モダンな感じとロシア風味が良く溶け合っています。第1楽章ではC13重奏、2楽章ではF13重奏の長いソロがあります。第3楽章の主題と変奏が最も聞きごたえがあります。		LPです。 CM 02723-24	Melodiya
				交響曲第2番 25の前奏曲 (1965)	★★★★★	25の前奏曲が5つの楽章に分かれています。いろいろな場面が登場し変化に富んでいます。オーケストラがA音でチューニングなどという場面もあります。		LPです。 C 01099-100	Melodiya
Alfred Schnittke	シュニトケ	1934-1998	9	交響曲第2番”聖フローリアン”(1978)	×	6楽章で55分。独唱、合唱付きのレクイエムのような曲。		CRCB-6101	日本クラウン
				交響曲第4番(1984)	×	7つの部分から成り41分。独唱、合唱付き。魅力がありません。		BIS-CD-497	BIS

